

施策評価調書(2年度実績)

						施策コード	Ⅲ-3-(2)
政策体系	施策名	世界に羽ばたく選手の育成	所管部局名	教育庁		長期総合計画頁	145
	政策名	スポーツの振興	関係部局名	教育庁、福祉保健部			

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	ジュニア期からの一貫指導体制の確立	優秀選手の育成・強化	競技力を支える人材の養成	競技力を支える環境の整備

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		2年度			6年度	目標達成度(%)														
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125										
i	国際大会出場者数(人)	①② ③④	H26	35	48	1	2.1%	60														

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	著しく 不十分 拠点校における日常練習の強化と選抜チーム・優秀選手の強化など、競技力向上対策の地道な積み重ねはあったものの、新型コロナウイルスの影響により予定されていた大会が中止となった。	著しく 不十分

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・優れた資質を有するジュニアアスリート30人を選考会により決定し、選手としての育成・強化を図った。
②	・本県出身のトップアスリートの就職支援に取り組み、県内企業に2名が内定し、成年選手の強化を図った。
③	・新型コロナウイルスの影響により、指導者の資質と指導力の向上に向けた研修は中止となったが、中央競技団体が実施するWeb研修会等の参加を促した。
④	・強化拠点校(団体)に対するスポーツ医科学サポートを選手の居住地に近い病院で実施できるよう改善したことで、実施回数が大幅に増加した。(R1年度:150回→R2年度:300回)

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	新チーム大分強化事業	—	354
③④	スポーツ大分パワーアップ事業	—	354

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○R2年度大分県競技力向上対策本部第2回本部委員会(R3.2) ・鹿児島国体(R2年度)は新型コロナウイルスの影響より延期となったものの、三重国体(R3)年度での目標達成に向けて、競技力の強化を継続する必要がある。</p>

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技団体が実施する選手強化活動において、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、活動の維持・向上を図る。 ・選考会により優れた資質を有するジュニアアスリートを発掘し、育成することで、競技力の維持・向上を図る。 ・強化拠点校(団体)の競技力を分析した上で、強化ランクの見直しを行い、支援の重点化・効率化を図る。 ・優秀選手のメディカルチェックや強化拠点校(団体)へのトレーナー配置を支援するなど、スポーツ医科学を活用したサポート体制の充実を図る。 ・優秀指導者を指定し、指導活動を支援するとともに、トップレベルの指導方法を共有・継承できる体制づくりを推進する。 ・県内企業とのマッチングによる就職支援を引き続き実施するなど、トップアスリートが県内で安心して競技を続けられる環境を整備する。 ・ラグビーワールドカップ大分開催を契機とした、児童・生徒へのラグビー競技の普及、競技人口の増加や指導者の育成等を実施する。 ・スポーツを通じた障がい者の社会参加促進のため、障がい者スポーツの振興を図る。